

住民と議会の意見交換会（泊地域）

日時 令和元年11月15日
午後7時～8時53分
場所 中央公民館泊分館

○河田議会運営委員会委員長 本日は令和元年度住民の皆さんと議会の意見交換会を開催いたしましたところ、大変お忙しい中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。本日、進行を務めます議会運営委員長の河田でございます。どうぞよろしくお願いたします。

本日は泊地域が初日でございます。限られた時間の中ではありますが、皆さんと特に今夜は濃密な意見交換会ができたと思います。日頃思っておられますこと感じておられますことなど、どうぞ御遠慮なく発言いただきますようよろしくお願い申し上げます。

それでは、開会に当たりまして、入江議長より御挨拶申し上げます。

○入江議長 皆さん、こんばんは。昼間の仕事等でお疲れのところお集まりいただきまして、ありがとうございます。残念ながらちょっと少ないもんですから、少しせっかくの機会が残念だなというところはありますけども、よくおいでくださいました。ありがとうございます。

ことは御代替りの年ということで令和という年になりました。皆さん御承知のように昨日から今朝にかけて大嘗祭ということで儀式が行われたということで御地泊におきましてもことは、原の藤井さん御夫婦が奉仕者ということでコシヒカリを献上されました。10月の終わりには東京に御夫婦そろって献上に行かれました。ということで、そういう意味では御代替りということもありますけども、湯梨浜にとってもそういう意味ではなんらかの形ができたということで思い出深い年になるのではないかなと思っているところがあります。

きょうは、それぞれの今年度今までやっています議会の状況等をお話をする。それからまた皆さんから御意見等をいただいて、できることは回答はしたいと思いますが持ち帰り、またわからないことは行政等ともきちんと打ち合わせなり問うて、それを皆さんのもとにまたフィードバックする形で政策を進めていきたいと考えておりますので、限られた時間ではありますがどうぞよろしくお願いたします。

きょうはどうもありがとうございました。

○河田議会運営委員会委員長 議員より各自自己紹介をしていただきたいと思います。

[議員自己紹介]

○河田議会運営委員会委員長 それでは、日程報告を寺地議会運営委員会副委員長よりお願いいたします。

○寺地議会運営委員会副委員長 (資料の説明) 議会、行政に対する意見提言という記述式のものがございます。この場で、はばかれるというようなことがございましたら、こちらに書いていただいて受付のほうに提出していただければと思います。この場ではできないことですので持ち帰りまして委員会等で検討し、議会広報でおかえしするという段取りにしておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

○河田議会運営委員会委員長 そういたしますと議題へ入ってまいりたいと思います。

なお、もう一度確認をいたしますが議会報告すべてが終わってから質疑はさせていただきますようによろしくお願いいたします。

なお、応答につきましては議長、担当の委員長がこの場で答えられることは答えさせていただきます。答えられない場合は持ち帰らせていただくということでよろしくお願いいたします。

そうしますと、総務産業常任委員長より報告をお願いいたします。

○浦木総務産業常任委員会委員長 まず、総務産業常任委員会としては、1番目に水道ビジョン、2番目に農業振興というこの二つの問題について報告をさせていただきたいと思っております。

初めに水道ビジョンということがございますけども、水道については皆さん御存じだと思いますけど、災害、地震あるいは水害等において断水がおこると。それによって住民の方がかなり迷惑というのは苦労されるというような実情はもう御存じだと思います。そういう意味において、水道というのは非常に大切な問題であると住民にとっては。いうことにおいて町としても、やはりそういうことをきちんとするためにも水道ビジョンきちんとやって10年計画をもって水道ビジョンをつくりあげていきたいという思いで、この水道ビジョンの策定ということになっております。資料的には皆さんのお手元にあります。1、2ページが水道についての参考資料です。

まず、水道ビジョンについてですけども、今一番大切なというのは昨年も報告させてもらいましたけども、水道料金がどうなるかというところも皆さんにはかなり疑問に思っ

ておられるともあると。その水道料金が上がるっていうのはここに書いてありますけども、人口が減少することによって湧水水量、要するにお金がもらえる水っていうのは少なくなってくると。それに反して今、道路の下にも配管が通ってます。かなりの何十キロの配管が通っております。そういった管路が老朽化してかなり厳しい状況にある。最初に申しました地震等が起こったときに、そういった老朽化した管というのは必ずやられる可能性というのがあります。そういったことは年次計画でもって交換していくということの必要性。そういうことを考えたら、最初に言いました湧水量の減少、管交換なんかによって経費の増大。そういうことによってどうしても水道料金っていうのは、ある程度つづくというわけではありませんけども、なんとかせんといけんじゃないかなという状況になってくるということです。今の建設水道課が計画立てております一番ピークにくるとというのが令和8年の時期が一番ピークになって、そのころかなり真剣に考えていかんといけんではないかというようなことで、今検討しとるということでございます。

水道の場合は、私は3つの安ということを考えております。一つは安全の安、安定した水の供給、もう一つは何だったかな、この3つの分をきちんとしながら水道事業というのはやる必要があるという認識を持っております。

ただ、泊の場合はもう一つ関係してくるのが簡易水道。泊は上水道は入っておりませんから、簡易水道でまかなっております。簡易水道と、今やろうとしとるのが上水道。この会計は統合しました。私が問題としたいのは、上水道は資材とかいろんな設備がかなりお金を使っております。簡易水道は別に悪いとかいいではなくして、そんなにお金を使わずに住民の皆様に安定した水道を供給しておられるということがありますんで、このちょっと経費がかかっておる上水道、本当に一生懸命やられて抑えておられる簡易水道。これが一緒になった場合にどうしても簡易水道を上げんといけんじゃないかという話になってくる。でもそれは、会計は統合したけどもそういったことによって水道料金をあげるということはしないということです。ただし、上水道と会計が一本になりましたけども実際の管の統合は年次計画で相当先になりますけどもやっていくと。そのときも料金は今のところでは上げる必要はないんじゃないかと検討していきたいということの報告で、我々もそういったことで議会としても一生懸命住民の人が安心して飲める水を供給するように議会としても頑張っていきたいと思っております。

2番目の農業振興（地域特産物）という分ですけど、資料の3ページ、4ページ。梨とかメロンとかいろいろありますけど、泊の関係でいくと4ページのほうの、全部報告す

るのがあれかと思えますけど、時間的な制約もありますので。4ページに今の泊の現状を載せております。今年の2月のはじめにJAの生産部と議会の総務産業常任委員会が意見交換をやりました。今現在の問題どういう問題を抱えておられるのかということについての意見交換をしました。そこの中で出てきた議題というのが、この4ページに書いてあります泊の場合はハウレン草、スイカ、奈良漬けと。この3つが泊としての主に生産されている分なんですけども、この3つともここに書いてありますけども本当に後継者が高齢化してしまって売上金額もものすごく減少して少ない状況にあると。これをなんとか打破したいんですけども若いもんもなかなか居ない。後継者を育てることもなかなか難しい。いうようなことを一生懸命言っておられました。私はこれを聞いてとって、ここに書いてありますけどもこのままでいくと本当で今、結構味のいい泊漬けがありますけども、この泊漬けもひょっとしたらもう生産できなくなってしまうのではないかと、商品化できんようになってしまうのではないかと感じました。とまり美人というスイカですか、この分も厳しい状況だと。5年10年前に泊の場合、ハウレン草が宇谷の人なんかを中心に一生懸命取り組んでそれなりの売り上げをやっておられましたけども、それも減少でどうしようもなくなってきたということを一生懸命生産部は言っておられました。それに対して我々は、そのときは聞いてそれを持ち帰ることしかできませんでしたけども、それは議会のほうできっちりとその声というのは活かしていきたいと考えております。

それから、もう一点そこには書いてありませんけども、今現在、泊漁港でとまり朝市をやっておられます。この資料をもらって平成30年度からやっておられますけども、令和元年になっても4月から11月まで毎月いっぱいまで朝市をやっていくと。定置網もそこまでなんですけども。毎月まではやると。令和元年になってからは、毎週火曜日と土曜日の週二回。平成30年のときには、週一回でしたけどもそれによって総売上も57万ぐらいから120万ぐらい。一日の売上にしたら両方とも4万円程度の売上になっております。ただ、これは売上もですけども港が合併して港自体が寂しくなってきた。それをなんとか活性化していく、にぎわいのある泊漁港にしたいというような思いもあって朝市を立ち上げられたということですので、これが地元の方が20人ぐらい泊以外の方が20人ぐらい合計40人が利用されておられるということを知りました。それがだんだん伸びていって港がにぎわいのある活性化していくような状況になればと思いました。その辺は我々議会としても全面的にバックアップしながら取り組んでいきたいと思っております。

○河田議会運営委員会委員長 続いて教育民生常任委員長よりお願いいたします。

○浜中教育民生常任委員会委員長 まず、教育民生常任委員会が所管する項目について簡単に説明させていただきます。

まず、ここ中央公民館の泊分館ですけど、生涯学習、人権学習など。子育て支援、こども園の関係ですね、そういった関係。また、長寿福祉課ですけど介護保険だとかそういった関係。健康づくり、国保だとかそういった関係と生活保護等の関係で総合福祉課の関係。小学校、中学校の教育委員会の関係を担当しております。

泊地域についての報告ですけど、中央公民館泊分館の建替えということをお聞かせされたと思うんですけど、これまでの経緯と状況について簡単に説明したいと思います。まず、平成28年度から泊地域小さな拠点協議会というのがありまして、その中でこの公民館の在り方、漁村センターの在り方について検討がされてきました。協議会から提案書が提出されまして泊分館については生涯学習・人権推進課のほうでどうするかというのを検討されてきております。ただ、平成30年には区長さんだとか、ここを利用されている団体の皆さんにいろいろ話を伺ってきております。現在は建て替える方針というのは変わらないんですけど、改めて役場内部で8月から中央公民館、漁村センターについて関係課で協議を進めておるところです。現在も協議を行っております。今後については、建て替える方針で今年度中には基本設計まで行い、皆さんの話を聞きながら今度実施設計、建て替えていくという予定になっております。資料としては出せる状態にないということだけを報告いたします。

一つ見てもらいたいのが9ページ、10ページ。これならできる医療費節約というのがあります。そんなの前に10ページを見てもらいますと疾病分類、一人当たりの医療費の推移というのが出ております。濃い実線が鳥取県の平均です、一人当たりの医療費。湯梨浜町は点々の分です。ここで気になるのは、湯梨浜町では新生物、がんですね、これが県の平均よりは多いということです。下の棒グラフは国保に加入しておられる人数です。どんどんどんどん23年から30年にかけてぐんと一気に減ってきておりますけど、一人当たりの診療費の推移は右肩上がりでは上がってきていると、景気もこのように上がってくればいいんですけどそういうわけにはなりません。そこで一人当たりの療養費をいかに少なくしていくかというのが国保の課題となっております。

9ページを見ていただきますと、「せつやく」と書いてあります。せ、選択しよう「かかりつけ医」、つ、続けて受けよう「特定健診」、や、やってみよう「生活習慣改善」、く、比べてお得「ジェネリック医薬品」。医者に行くなというわけではありません。

こういうことを気をつけながら医療費を皆さんに節約していただきたいというのが思いであります。

その他の資料については、今、羽合地域で放課後児童クラブ新設を検討していて平面図と完成予想図のような簡単な図があると思いますけど、それに向かってこの12月くらいには着工できるのかなという思いがあり、3月くらいまでには完成予定です。

とりあえず説明については以上です。

○河田議会運営委員会委員長 続きまして、議会広報常任委員長よりお願いいたします。

○米田議会広報常任委員会委員長 議会広報の委員は、議長以外全員が委員になっています。11人でやっとります。2班に分かれて交代で議会だよりを出しているんですけど、皆さん御存じのとおり定例議会にあわせて年4回議会だよりを発行しております。定例議会のほかには、全員協議会とか常任委員会の模様についてはホームページのほうで動画を発信しております。

11ページに編集理念という形で出しておりますが、議会広報も年に数回研修を受けたりして、少しでも皆さんが読みやすく興味のあるような議会だよりを発行したいと思っておりますので、また何か見て感じることはありませんか、言っていただければありがたいと思います。以上です。

○河田議会運営委員会委員長 続きまして、中学校等跡地利用検討特別委員長より報告をお願いいたします。

○上野中学校等跡地利用検討特別委員長 資料でいきますと、12ページ、13ページになるんですが、資料に入る前にちょっと一言だけこれまでの流れといいますか、その辺の説明をさせていただきたいと思います。

行政のほうですが、昨年5月30日に第1回の学校跡地施設利用検討委員会というのを開催しまして、それから5回にわたって委員会でいろいろ検討され、最終報告ということで大ざっぱに言えば、まとめにあたっては委員会では一つの利用法に集約せず断定することが難しかったと締めておられました。そしてその中で北溟中学校の用地に関しましては、自然環境からも公共性のある施設利用が望まれるという集約がありました。

そして東郷中学校のほうでは、利便性から民間活力の活用が望まれると…。ということで報告書がまとめられました。

行政内部ではその後、今後報告書をもとに役場内部で各関係課で検討を進めていくという流れになっておりました。その後議会の歩みですが、昨年9月定例会で中学校等跡地利

用特別委員会これを設置いたしまして、そこで議会では中学校跡地だけに限定をせず町有地全体そこを捉えて有効活用に向けて検討していこうというそういう目標を立てて進めております。

そして、昨年12月26日に第1回の議会の検討委員会を開催しまして、そこに執行部から関係課に同席していただきいろいろ確認をとりました。その中で当初の予定では本年6月に方針を決定して9月には具体的活用法の決定、そして9月定例会で予算を計上するんだと。10月には用地を売却に向けて公募していくというスケジュールが組んであったわけですが、ちょっと今なかなか思うように執行部のほうも進めることができずに、今ちょっと遅れております。

行政からの中間報告としまして、資料にあります12ページ、13ページの資料が7月17日から26日までの期間を設けてサウンディング型の市場調査を行ったということでまとめております。12ページが北溟中学校の関係、航空写真である程度全体がわかるようにしておりますが、上に書いておりますが5つの事業者から提案がありました。北溟に関しては4点。一つには商業施設に関しての利用がいいんじゃないかと。2つ目が商業施設、そして福祉施設、あるいはこども園、体育館などの町有施設などの多種機能を併存させた複合施設がいいんじゃないかと。3点目が加工場を併設したマルシェを設けたほうがいいんじゃないか。4点目が働きながら健やかさを取り戻していく、最先端通信環境と体験型の各種プランも用意した宿泊施設こういったものがあうんじゃないかというような事業者からの提案があったということです。

13ページ、これが東郷中学校の関係ですが、最後の3点目、4点目は北溟中学校と同じ内容ですので違うのは上の二つです。

一つには海外の子どももターゲットにしたスポーツ施設、合宿施設、学習施設を併設した複合施設がいいんじゃないか。もう1点は教室の一室を利用して、龍踊りの活動の歴史を残し、後世の子どもたちに引き継ぐ伝統芸能に発展させるため、龍やその他の小物の保存・展示を兼ねて今までの活動写真やパネルを展示する、そういった場所に活用したらいいんじゃないかという事業者からの提案があったということでございます。

議会の委員会としまして、以前、中学校を統廃合するときにも特別委員会、行政の委員会と議会の委員会が2つあって、議会が先んじるとなかなか活発な意見が交換できないんじゃないかということもありまして、この検討委員会に関しても議会から先んじて結論めいたものを出すのではなく、行政のほうからどういう姿勢でこれから望んでいくのかと

様子をみながら進めていく方向がいいんじゃないかということで、今、行政側スケジュールは遅れてますが、その後様子をみながら議会のほうも並行して進めていくという考え方で現在進行中でございます。以上で特別委員会の報告を終わりたいと思います。

○河田議会運営委員会委員長　そういたしますと、ここで一旦、総務産業常任委員会から今の特別委員会までの報告に関しまして御意見、御質問等ございましたら挙手をお願いいたします。

○住民　水道の件なんですけど、これ正しいかどうかよく分からないんですけど、最近私の知っている宇谷の中で漏水が2件ありまして、ここに書いてありますけど老朽化っていう話があったので、その安心安全という意味で私もちょっと不安になっていて、水道料金がぱっとふえてないかとか毎月確認しているような状況なんですけど、この老朽化というところをもう少し具体的に示していただいて、そういう危険性があるのかないのかというところをもう少し明確にさせていただきたいというのがまず1点目です。

2点目は、農業の関係であったんですけど、宇谷を見てても私が子どもの頃から見てももう畑がどんどんその野生化して行って山に戻っている状況の中で、農業はどんどんされていくんだらうなと思っていて、このままでいくとやる人もいなくなってというふうに農業に関してはそう思ってるんですけど、その一方で全国的に見たら農業法人化の動きがあると思うんですけど、その農業法人化っていうところに行政として手を入れていかないのかというのがあります。農業法人の大きなところは、若い人もどんどん入ってきていて農業ICTも駆使して、どうやったら儲かってどうやたらっていうところをちゃんとやっているところもあるので、ただできあいのものにしがみつくんではなくて、そういった新しい発想のことも考えていただきたいのが2点目です。

3点目、泊公民館の話があったんですけど私も区長になって小さな拠点の会議に2回くらい参加させていただいたんですけど、この前ちょっと公民館で説明があつて状況確認をしたらどうも頓挫していると。要はじゃあ誰が運営していくんだというところを何で今頃そんな話が出るのかよくわかんないんだけど、頓挫している状態がどういう状態なのかを教えていただきたい。あと公民館については、前回2カ月前ぐらいに町民課の方だったと思いますけど、説明があつて確かに小さな拠点の中では公民館建て直すっていう話があつて、2カ月前には公民館を建て直さないんだと言われていたことがあつて、これどうなってんだよっていう話で各区長さんも憤慨した場面があったんですけど、これは本当にどっちが本当なのかというのを教えていただきたい。具体的な計画って言われましたけ

ど、どうもそういう状態では説明をされてなかったっていうのが実態です。

あと4点目、ジェネリックの話があったんですけど、ここにジェネリックを医薬品希望って、医療機関にかかっている患者がそういうことをなかなか言っている場面って見たことないと思うんですけど、これって医療機関、私もちょっと親とか自分も行ってるんですけど、医療機関のほうからこういうジェネリックありますよっていう、そういった提言をしないとなかなかこんなことはジェネリックを使っていく、もしかしたら医療機関によってはジェネリックしか使ってないところがあるのかもしれないけど、そういう状況はわからない。だから何が言いたいかというと、その提供する側がちゃんとジェネリックだったらこう、ジェネリックではないのはこう、どちらにされますかというような選択肢をあたえるような場面を作らないと、こんなことはいつまでたっても同じだろうと思ってます。

あと、ゆりはま議会報の話があったんですけど、私も区長になるまでは議会だより読んでなかったです。ちょっと読み始めたんですけど全くおもしろくない。もう少しやっぱり読んでいて興味をそそるような内容にしていっていただけないかというのが一個人の感想です。

中学校跡地の話ですけど、区長になったときにいろいろ調べたら合併当時から宇谷で100人程人口が減ってます。泊全体でみると500人ぐらい減ってるんだろうと思っていて、宇谷、泊どうもなくなってしまいうんじゃないかという危機感をおぼえながら、その区の中でどうやっていったらいいのかという私も試行錯誤してるんですけど、やっぱりこれはいいや。これはいいんですけど公共性だとかその民間活用とかすみ分けするのはいいと思うんですけど、レークサイド・ヴィレッジですか、これとのすみ分けちゃんとやってほしいなと思っています。同じようなものやってもあれなので、すみ分けっていうのを今は大きく公共性、民間利用されてるって伺ってますけど、このレークサイド・ヴィレッジゆりはまとのすみ分けをちゃんとお願ひしたいなと。以上です。

○入江議長 ありがとうございます。それぞれ私のほうで答えられる部分は答えさせていただいて、それぞれの補足なりは常任委員長から補足をさせていただきます。わからないこと等がありましたら、持ち帰ってそれは議会広報であったりだとかいろんな方法でフィードバックはさせていただこうと思っていますのでよろしくお願ひします。

まず、1点目の水道ビジョンの件です。漏水の件の話がありました。不明水も含めて全般的にはあります町内全域で。委員長からもありましたように2040年問題って言って、管が老朽化して行って腐食が進んでいたりなんかしていることが全国的にあります。それと、頻繁に起こる地震等でどうしても直管で繋いでいるとフレキシブルで入れるところ

がないもので、やはりその部分にダメージがくるということはあると思います。そういうことでありますので、まずは漏水が確認されたら所管の建設水道課等に調査の依頼なりそういうものを投げかけていただきたいと思います。それで、そういうことがあるならば整備を早急にしていかなければいけないと思っておりますので、その辺はそのようにお願いできませんでしょうかということでもあります。

それから、説明があったように水道ビジョンの中で特に泊の部分については、ずっとお話をして言ってますように筒地の部分がちょっと枯渇するということがありまして、昨年度やりかえました。鳥取から配水をもらうようにして水は対応できるようにしております。それからまた、新しい水源ということで東郷地域を中心にボウリング調査等もやりましたが、なかなかいい水源、それから量が確保できないということで今のところはそれは頓挫してます。ただ、倉吉のほうから田後の部分に配水管を繋いでジョイントして倉吉から水をもらうような形に現在しております。湯梨浜は倉吉と鳥取から水を供給できるような体制づくりが今できたということで、新たな水源を確保してどんどんそういうことにお金を使うということよりもそういうことで倉吉等も人口が減ってきていますので水が余っているということからすると、そういう部分ですと有効に使えるのではないかと考えておりますし、委員長からも説明がありましたように水道ビジョンの考え方に伴って老朽管の整備等は順次調査も含めてしていかなければいけないと考えておりますので、よろしくお願いたします。

○住民 ちょっといいですか。水道管の老朽化の話なんですけど、個人の敷地内はそういった水道管の工事はその家庭が払って、公共的なところの水道管工事部分は町が払うというような費用のそういうところもはっきりさせてほしいと思うんですけど。

○入江議長 不明水につきましては、どんと上がったたりなんかすることに対しては町のほうで調査だけはできます。ただ、今言われるように工事になると起点になるところから入り込んだりなんかすると確か個人の費用でないかなと思います。

○浦木総務産業常任委員会委員長 今の質問に答えます。メーターから屋敷のほう側ですよね。この部分の修理、漏水した場合は個人負担です。メーターから道路側のほうの場合は町負担ということ、これははっきりしとりますので了解しとっていただきたいと思います。

○住民 はっきりしてるというのは、住民の人に周知されてるんですか。

○浦木総務産業常任委員会委員長 周知の方法というのは私も見たことないしあまり聞

いたこともないんですけども、たまたま私自身が業者ですのでその辺は当たり前だという認識がちょっとあるもんですから申し訳ないですけども、ただ、周知はもうちょうときちんとしないとイケないなという感じは持っています。

○住民 ふえているような状況であれば、それはちゃんと…。

○入江議長 それは言ってください。調査は確かできるはずですよ。

○上野中学校等跡地利用検討特別委員会 いいですか。宅内の水道がメーター手前のほうで漏れていると当然メーターが回りますよね。確か何十立米以降はこれは不明水とはっきり分岐点があって、それ以降例えば気がつくまでに20立米も30立米も出ちゃったという話になったら最低10立米から…。20立米、30立米超えた部分に関しては免除。それ以内の分に関しては当然宅内の責任として…。

○住民 水道料金そのものはいいですけど、管の工事です。

○上野中学校等跡地利用検討特別委員長 管の工事は当然、家のほうは自分で。道のほうは行政、そこはメーターが基点あくまで。

○住民 いや、それが周知されてるかって話。

○浜中教育民生常任委員会委員長 多分ね、メーター機取り付けて水道使用しますよっていう書類を提出してもらいますけど、そのときにちゃんと書いてある。

○入江議長 メーター検針のときに、多くぼっと上がっていると役場から通知が行きます。それで、どうなのかという確認ができるようになっていると思いますので、それについては確認はできると思いますので、とにかく不明のところがあったら所管課に問い合わせしてみてください。

○浦木総務産業常任委員会委員長 今の分で誤解されたいけないんですけど、通知が本人に行くのではなくメーターの検針員が毎月検針に来られますよね、そのときに検針のペーパーが出ます、そこの横に漏水の可能性があるので業者なりなんなりに点検してもらってくださいと一筆を書くようには水道課は…。

○入江議長 今、ペーパーは来ますから。大丈夫です。

2点目です。耕作放棄地の件です。言われるようになかなか個人で新たなものは難しいと思うです。エリアの中でも。法人化っていうのは確かに大事なことだと思っていて、今、我が町で取り組んでいるのは東郷地域で放棄地というか梨づくりをやめられるところをスクールファームがありますね、あそこが入って梨づくりをしているということがあります。販売用にしたり加工用にしたりということですので、今言われたような部分とい

うのは梨だけに特化せずいろいろなことに転用に考え方を変えていく必要というのはあろうかなと思います。これは農協であったりだとかそういうところと連携をしながらやらなければいけないことだと思いますので、これはまた我々も勉強させてください。

3点目です。公民館と小さな拠点のことです。委員長からもありましたように、公民館についてはやはり建て替えるという方向でやると思います。ただ、小さな拠点づくりの部分とは切り離れた部分ではないかな現状ではと書いておいて、委員長から報告がありましたように今年度中には公民館については基本設計を出していくということで所管から聞いておりますので、そういう方向で進むんだと書いておいております。そういう打ち合わせができたと思います。それで委員長が…。

○住民 2カ月前に町民課の方からもありました。小さな拠点とは別枠で進めてます。だけど建て替える予定は今のところないと言われたのでちょっと違うなと思って。

○入江議長 多分、町民課ではないので。生涯学習課と関係課といったらどこかな。企画課かな。

○住民 企画課、もしかしたらゆりはまネットの例の工事のあとにやったのかもしれない。

○浜中教育民生常任委員会委員長 昨日の段階では、担当する課からは建て替える方針で今現在行っていると。ただ、泊の中に漁村センターがあります、青少年の家があります、中央公民館泊分館があります。泊分館については、建て替えの方向性で今検討しておられる。ただ、役場もだいぶ古くなってきて耐震化されてませんから、それも含めながらの協議を進めているところです。だけ、どっかで建て替えの方針がないというのは、青少年の家なんかもう…。

○住民 役場だったのかもしれないです。ごめんなさい。

○浜中教育民生常任委員会委員長 役場ですか。青少年の家とか漁村センターがあるんですけど、青少年の家は建て替えの方針はない。解体する方向性で検討はされるところと思っております。

○住民 役場です。

○入江議長 次は、ジェネリックの活用についての話がありました。これは薬局であったり病院と連携すべきだと思います。薬局等でもきちんとこれはジェネリックとしての薬がありますからということで、あるところはきちんとどうですかと言われますので、私は聞かれますので、その辺は連携していくべきじゃないかと思っておりますので、これは健康推進

課であったりそういうところと連携しながらうちのほうからも促す。ただ、ジェネリック、ジェネリックということで。使う方、個人の方にもこれは後発医薬品はありませんかと聞かれたりすることを促すような啓発活動も必要かなと考えてます。

○上野中学校等跡地利用検討特別委員長 湯梨浜町からもらう保険証の裏にジェネリックと書いてあるやつは、シールを貼りよっただんね。私は保険証を出すときにそれをばっに見えるだけ。今、薬部門と医療部門は別個ですよ。薬局がみんな外にあってそこに行って処方してもらいなさいみたいな話になっている。その場で向こうが言ってくれば気が付いてジェネリックにしますって選択するんだけど、言ってくれん場合もどうもあるようです、聞いたら。そういった意識がやっぱりないとそのまま薬局屋さんの言いなりに薬が出てしまうということがあるわけです。

○住民 処方箋に従って処方して、薬局でこういう後発医薬品ありますよというふうに。

○上野中学校等跡地利用検討特別委員長 言ってくればいいですけど。

○住民 そういうことないですからね。

○入江議長 言うところもあるんです。

○浜中教育民生常任委員長 病院で初診でかかると問診票がありますが、ジェネリック医薬品を希望しますか、しませんという欄があるところもある。新薬のほうがよく効くような気がして新薬を頼む人もおるかもしれんけど、できたらジェネリックにしてもらいたいというのがこの文章です。絶対ではないです。

○住民 わかりました。

○入江議長 ということです。議会だよりについては委員長から答えさせますけども、中学校跡地とレークサイド・ヴィレッジとのすみ分けと言いますかそういうことがありました。レークサイド・ヴィレッジは言われたように民間主導でやっていますので、それぞれ売れてきてます。約半分とまでは言わないけども30軒近くはどうも売却というか話ができていくことを聞いてますので、そういう流れでいくと思います。

中学校跡地については、宅地とかという考え方よりもほかの転用のほうがいいんじゃないのかなと思いますので、それはまだまだサウンディングっていう手法をとりながら今、意見集約をしたわけですからこれから一緒になってやっていかないけんなと思ってますし、北浜中学校については、御承知のように泊村、羽合町、北条町組合立の中学校でしたよね。ということは現在でも旧北条町、北栄町に3分の1の権利がまだ残っているところであります。この辺の話をきちんと終わったなかでのいろんな開発になろうかと思っておりますので、

もう少しそういう部分も含めて時間があるかなと思っています。

○上野中学校等跡地利用検討特別委員長 さっきの質問理解できないんだけど、レークサイド・ヴィレッジと中学校跡地のすみ分けをという表現されたのはどういう意味かなと思って。

○住民 レークサイド・ヴィレッジの中でやってるようなことを例えば北溟とか東郷で同じようなことがかぶっちゃうといけないんで、すみ分けというのはそういう意味です。

○上野中学校等跡地利用検討特別委員長 もともとがレークサイド・ヴィレッジは民間事業なんです。ソフト的には役場もかんだるんだけど、民間事業で町有地ではないんで、その部分は議会が口挟むわけには当然いかないので。

○住民 いやいやだから同じようなものを作っても、それなら共倒れするだけではないですか。

○入江議長 これは意見だから言っとけばいいことで。

○上野中学校等跡地利用検討特別委員長 了解しました。

○入江議長 議会だより。

○米田議会広報常任委員会委員長 おもしろくないというのはなんとも答えが難しいですけど、皆さんがいろいろ感じておられるのでその部分では答えも難しいところもあるんですけど、一昨年の住民の方との意見交換会の中で定例議会の中だけでなくほかの全協とか委員会の活動も載せてもらったらというような意見もいただきましてね、その辺のところは心がけております。何回か議会が否決した部分を特集にしたりとかってというような工夫もしておりますけれど、今後もいろいろ意見がありましたらおっしゃっていただければありがたいと思います。よろしく願いいたします。

○河田議会運営委員長 たくさんの御意見ありがとうございました。

そのほかどうでしょうか。ございましたら挙手をお願いいたします。

○住民 今年も住民と議会の意見交換会を開いていただきましてありがとうございます。町長と語る会は今年の夏はなかったと思いますし、何年前、町長と語る会をはまなすでしたときは、2人だったときもありますのでこれに懲りずに、毎年こうやって住民の意見を議員の皆さんに全員に聞いていただく機会はないので毎年続けていただければと思います。

1点だけ泊分館の建て替えについての要望です。その前に小さな拠点のこととも関連がありますので私、小さな拠点検討委員会の副会長をしておりますので今の状況をお知らせ

しますと、言われたように3月から会議は開かれておりません。その理由というのが3月の時点でとりあえず売店設備をやっ払いこうということでコンビニにあたってみようということで2社にあたったみたいです。その結論が出るのが夏ごろだと聞いていました。夏を過ぎて担当課に聞いてみたところ両方ともだめだったと。それは、来ないのかオーナーが見つからなかったかはよくわかりませんが、コンビニの誘致というのはだめだったということです。その後どうするかということで住民の有志でNPOを立ち上げてその有志が売店の運営に携わろうとなりまして、先日11月6日にその中心メンバーで集まって会議をしております。ただ、そのことは小さな拠点検討委員会のメンバーはほとんど知らないで、その場所に私も出てきましたがそれだったら、小さな拠点はもう意見書を出した時点で終わりにするがいいじゃないかと。あとは、もう次のNPOに引き継ぐがいいじゃないかという提言をしました。小さな拠点の検討委員会のメンバーが知らないところで動くのは極めてよくないと私は感じておりますし、意見書を出した時点で小さな拠点の検討委員会は終わりにしたほうがよかったのかなと。引き続き同じメンバーで売店の運営まで携わろうという話になったのがちょっとよくなかったのかなと感じております。今後NPOを立ち上げるにあたって、泊の住民の方にも説明をしながら、あるいは協力を得ながら進んでいくと思いますので、各区長さん並びに議会の皆さんもよろしくお願ひしたいと思ひます。

それで、泊の公民館の建て替ひの要望と申しますか、本来小さな拠点が始まったときには泊の役場と泊分館と漁村センターと青少年の家を一旦こぼして、その複合施設を建てるという方向で一年半、山根副町長のもと進んできました。ところが、内部で検討された結果、泊支所に関しては耐震で5,000万で直ると申す見積もりが出たということと、あと生涯学習課のほうから中央公民館泊分館に関しては図書館も横にありますし小学校もある。このあたりを文教施設として場所はここに建て替ひたいというような要望が出たということで方針ががらっと変わりました。役場は残す、中央公民館泊分館はここに建て替ひると申す方向を役場の方針と申しますか、そういう方針がありましたので小さな拠点の検討委員会もそういう結論と申すか報告書を出させていだいたところ申す。

ただ、きょうみたいにやはり泊の住民って高齢化して申すして、こういう会に出たくても夜の会合とか特に歩いてこないけんとなるとこの場所でいいのだからって僕は今申すしています。もう一度場所も含め中央公民館泊分館はどこがいいのかと申すのをもう一度議会の中でも検討していただきたいのと、一方、来年度解体されるという予定でその間

は青少年の家を間借りする。その後再来年度建設されて、青少年の家は取り壊すということですけど青少年の家、浜中さん年間利用者はどれくらい。

○浜中教育民生常任委員長 年間12件。人数はちょっと。

○住民 そんなもんですか。活用方法によってはもっと…。

○浜中教育民生常任委員長 ただ古い。耐震化してもどこまでもつかなというのものもある。

○住民 仕方ないのかなと。泊分館を建て替えるにしても泊分館は泊の住民のためだけではなくて、例えば羽合とか東郷あるいは町外からも人が集えるような設備を伴った、とにかく泊は今人口は減ってますし入り込み客も減ってるので建て替えるならそういった町内外からも人が集えるような設備をお願いしたいなっていうのが要望です。

○入江議長 我々も知らないことがたくさん聞かせていただきました。ありがとうございました。小さな拠点については確かに言われるように、片一方ではそういう部分がそれでいけんかったらNPOでも立ち上げてやろうという機運があること自体はいいけど、やはりきちんとメリハリをつけて、言われるようにそれ以上のことがないなら検討委員会を閉じてしまって、やはりそういう方向で進められるほうがいいんじゃないかなと個人的には思いました。どういうふうに所管課も含めて思っているかわかりませんが、その辺は聞き合わせをしながら我々ももう少し勉強せないけんかなって思ってます。

この場所のこと言われました。きょう出にくい。せつかくのこういう機会なのにそういうチャンスがある方法を我々も模索せないけんじゃないかなということで、確かにいろんなところに行くとカフェ的な議会、昼間してお茶を飲みながら意見を聞くような会をしておられる全国にはそういうところもあるので、そういうようなことも模索してみたらどうかっていう意見は議会内でも思ってるんですけども、なかなかそれに踏み出せてないということがあります。今、提案もありましたようになかなか夜のこの時間に出にくいというのもあろうかなと思いますので、今年度はどうしようもないですけどもやはり来年度に向けて、またこの時期だけではなしにあったかいとき、春先にやるだとかそういうようなことも少し検討してみたらどうかと思って感じましたので、その辺はまた持ち帰りまして検討してみたいと思います。

○住民 ここ駐車場が車が止められないんですよ、台数。僕、きょう来てすごい車がったんで、たくさん人が来られてるのかと思ったらみんなスタッフばかりだったんですよ。僕よくわかんないので駐車場その前だけだと思ってるから、遅くなったらこれ絶対止められないと思ってそうすると来ないですよ、時間過ぎちゃうと。そういうのもあるんでび

っくりしました。駐車場確保の面も併せてお願いします。

○入江議長 わかりました。今のことも含めて場所的なこと、時期的なことも含めてまた再考していきたいと思います。あと継続のことはぜひとも続けて、こういう少々人数が少なくても我々ももう少したくさん集まっていたらいいようなことを告知の仕方とか、もう少し工夫もしてみたいと思います。

中学校問題の統合のときとかなんかはすごく皆さんPTAを含めて活発でした。泊でも二十数人とか羽合だったら80人ぐらいこられたりとか、そういうテーマが大きかったときには興味を持たれて来てもらうということもあろうかと思いますが、テーマの設定であったりだとかその辺のことも我々ももうちょっと勉強していかないけんじゃないかなと思いました。ありがとうございました。

○上野中学校等跡地利用検討特別委員長 ちょっと逆に聞きたいけど、検討委員会のあんまり内容的なものが議会にも情報が入ってこないんで把握できとらんだん。さっき検討委員会の流れをちらっと言いなただけど、先週の日曜日泊六区でふれあい祭りというのを地域でやったんだけど、そこに担当課と〇〇さんが来て、たまたま僕そのときに人が来ていて会合のときに立ち会えなかったんだけど、何か説明しとんなったの。内容的なものを把握しとんなるか。

○住民 僕は日曜日都合が悪くて出れなかったんですけど声はかかってました。一緒に出てもらえませんか。その二、三週間前に泊四区からもどうなっているか教えてと。そのときは出させてもらって、そのときの資料は役場に提言した内容をお伝えしてその後のことはなにも触れず、コンビニがだめになったとかNPOを今立ち上げようとしとるっていうことは触れてないので、推測ですけど多分六区の説明会でも町に提案した内容を説明しとるにとどまるとと思います。

○浜中教育民生常任委員長 公民館の位置ですね、後期高齢者が多くなってきてこの場所はいかがかという意見だったと思います。でも宇谷からしたらね、宇谷にあったほうがいいですね。

○住民 小さな拠点でも言ったんですけど、宇谷とか原とかそういう人たちがそんなもんに来るか。泊だけで考えているような話はやめてほしいと。

○浜中教育民生常任委員長 場所についてはなかなか難しいと思う。仮に平地であっても宇谷から歩いていけるかっていったらちょっと無理ですけんね。だけ、どこがええのかわかって気がする。仮にこの会だったら宇谷の集会場に行ってやりましょうかということとは

可能です。ただ、公民館の場所をどこにするかといったらなかなか難しい。

○入江議長 会場のことは、例えば委員長が話をしましたように宇谷の地区でこういう会をしてくださいよということがあれば我々出かけて行ってこういう会を持たせてもらってもええじゃないかなと思います。こういう会もそれぞれ旧町村に一回ずつしてはいますが、総産の委員長からも話があったように、去年はJAの生産部会と討論会といいますかそういうこともやらしてもらいましたし、ここ毎年は教民も民生児童委員さんと会を持たせてもらってますし、農業委員会さんともやらせてもらって農地パトロールを一緒にしたりとかそういうこともしてますので、ぜひともそういう御要望があれば議会のほうにお伝えいただければそういう会を持たせていただこうと思っています。よろしくをお願いします。

○河田議会運営委員長 そのほか、よろしゅうございますでしょうか。よろしいですか。また思いつかれることがありましたら最後にまた意見、提言伺いますので。

次に進ませていただきたいと思います。意見交換についてということで湯梨浜創生に向けて、これから進行のほうを副議長にバトンタッチしまして進めさせていただきます。

○松岡副議長 きょうのテーマは大きく湯梨浜創生に向けてということですが、その中でも小さいテーマということで具体的なテーマですけど、学校等跡地問題、生涯活躍のまち、災害関連ということで皆さん方の意見を伺っていきたいと思っております。時間との関係がございまして1テーマ10分ぐらいにしたいと思っておりますので、進行に御理解と御協力をよろしくをお願いいたします。

それでは最初に学校等跡地問題についてですけども、このことについては先ほど上野委員長から両中学校の跡地利用について報告がありましたので、さっそく意見交換に入りたいと思っておりますけども、これも先ほどありましたけども議会の特別委員会は両中学校以外の他の町有地の跡地利用についても検討することとしておりますので、これについても御意見があったらお願いいたします。それではお願いします。

この問題は先ほどかなり議論が出たのでなかなかぱっと気につかれる点はないかと思いますが、よろしいでしょうかね。

○住民 一つだけ、北浜中学校の跡地ですけど校舎を壊すのに何億もかかるというんでこれなかなか壊せないんだとあるところから聞いてるんですけど、実態はどうなんですかね。校舎を壊すのにお金がかかるから壊せないんだと聞いたことがあるんですけど、それはないんですか。

○入江議長 それはないと思います。総事業費の中に解体費も含まれていますので予算

化してますので、それはあり得ないと思います。

○**上野中学校等跡地利用検討特別委員長** ただあるのはさっき議長が言ったけど、北栄町に解体費用も応分の負担をしてくださいとこっちは言うんだけど、向こうは払いたくないもんだから行政同士が綱引きしている。権利の綱引きというか負担の綱引きというか。どっちもが負担したくないから権利の主張のしあいというか。絡みがあるだけでどっちみち解体は当初から見込んどるんで。

○**住民** わかりました。

○**入江議長** それと学校等についてとしてますので、北溟中、東郷中の跡地利用だけではなく等でありますので我が町にもたくさん公有地が点在しております。なるべく不要なところっていうか使う用途が町としてないところ等は住宅宅地として転売したりだとか、はわいこども園の横はあずま園さんに買ってもらったりしたところもあります。そういう整理も少しずつしていかないとお金に換えていくとか何か有効な利用の方法を検討してそこを使っていくんだとかそういうことをやはり我々はしていかななくてはいけないと思いますので、それは委員長のもと洗い出しをしてそれについては議会からも提案、提言ができるようにしていきたいと思ってます。また御意見等がありましたら教えていただければと思います。

○**松岡副議長** よろしいでしょうか。どうぞ。

○**住民** 北溟中学校の跡地についてですけれども、一昨日商工会と行政との懇談会がございましてこれもテーマになつとりまして町長言われてましたけど、まず、4万平米の土地の4分の1ぐらいをこども園に充てたいと。たじりこども園の移転。体育館は残しますと、そこまでが決まるとということだったんですが、まず1点聞きたいのが179号バイパスとの距離関係、北溟中学校の前の道路は残るのかということと、たじりこども園が来るのにその横で車がばんばん来るような商業施設であったり、あるいは商工会の顧問をされてる方は大規模な物流センターを呼んでくるのがいいと提案しておられましたけど、その辺のこども園の横の施設としてふさわしいっていうのがどうかなという思いがありましてちょっと聞いてみたいと思います。バイパスとの位置関係と前の道路は残るのか。また今の179号にそのまま接続されるのかという、決まってることがありましたら教えてください。

○**入江議長** ルー特的には御存じかもわかりませんが、都市計の審議会を通過して開発に向けて動き始めました。実際ボーリング調査であったりだとか測量調査がはじまった

ところでは、我々の議会にも正確な、どの部分を通っていくかということはまだ示されておりません。基本的には天神川沿いの土手に近いところを通りながら天神川浄化センターの手前のところを右側に折れながら湯梨浜の役場のところからタッチする道にこうタッチしていくんだということだけが、現在我々に示されているところでもあります。

北溟中学校の前の道路は、あれは残ると思います。どういう形になって残るかはわかりません。179の延伸のほうを抜いて行って上を高架から下りていくようにしていくのか、その辺のことは全くわかりませんが残ると思います。ほんの近くまではこないと思います。中学校の今のグラウンドのところ。なんぼか離れたところでいくんじゃないかと思っています。懸念されているこども園をもっていくと開発の特にグラウンド部分のことだと思いますけども、どういう跡地利用をしていくかということはまだはっきりしないのでわかりませんが、物流の基地が果たしていいのかどうかという問題もあろうかと思っています。その辺の今の御意見のことも含めてやはり考えていかないけんじゃないかなと思っています。その辺は我々も勉強なり検討をさせていただきたいと思っています。個人的にはせつかくこども園ができるのであの辺広いところなので、支援センターであったりだとかそういうものも一緒にできるような広い面積がありますのでそういうことももう少し考えていったりするのもいいかなと思っていますので、まだまだちょっと課題かなと思っています。御意見はお聞きしたので、その辺の配慮も考えながらしていきたいなと思っています。

○松岡副議長 貴重な御意見をありがとうございました。そのほかございませんでしょうか。そうしますと時間も経過しておりますので、次に移りたいと思います。

次は、生涯活躍のまちです。資料が付いております。14、15ページです。生涯活躍のまちレークサイド・ヴィレッジの鳥瞰図みたいなものと、右側が今4ヘクタールの造成をしております住宅それから福祉ゾーンどういうふうに配置していくかという配置図が載っております。今これが造成中ですので工事が進行中ですので、少しそのところを紹介させていただきたいと思います。

15ページを見ていただきまして、半分から左にA番号がついていると思いますけど、A番号がついてところが一般住宅が46区画あります。先ほど紹介がありましたけど今このうちの29区画で予約が入っているところです。右半分のほうがSの番号がついておりますけども、これは温泉付きの区画だということです。これが21区画あります。21区画のうち9区画が予約済みということで、合計でいきますとかなり予約が半分以上済んでるということがございます。それからあと残っているのが左からいきますとサービス付

き高齢者住宅、町営住宅ゾーン、商業施設。右側にいつて公民館なり緑地コミュニティーゾーン、福祉ゾーンA、B、Cということなんですけど、一応福祉ゾーンAのところにはグループホームの配置予定だということです。福祉ゾーンB、Cのほうは、リハビリなりデイサービス施設をもってこようということのようです。だいたい今そういう計画をしておられるということです。

それで今後の予定ですけど、造成工事が今月中、令和元年11月末に完成予定です。それで完成検査を12月にやって販売開始、引き渡しを令和2年2月から行う予定であるということですので今進んでおるといことです。

それからレークサイド・ヴィレッジの話をしたんですけども、そのほか生涯活躍のまち事業として松崎駅前のコミュニティー拠点のゆるりん館、どれみ、泊地区の小さな拠点構想も含んでおりますので、そこら辺も含めて御意見をいただければありがたいと思いますのでよろしくお願いします。どうぞ。

○住民 きょう一番聞いてみたかったことが本当はあるんですけど、申し上げましたけど宇谷の人口が14年ぐらいで100人減って泊全体で多分500人ぐらい減っているような過程。町としては微減なんですかね、微減なんでしょうけど多分田後とか東郷はどうかわかんないですけどふえているところもあると思うんですけど、そういったどんどんすたれていく、もしかしたら本当に消滅するんじゃないかと危機感を感じてるんですけど、そういった過疎の地域に対して町としてどのようにされようとしているのか、あきらめてしまうのかその辺が本当は一番知りたくて、区長としていろいろ考えてるんですけど、まずお年寄り元気になってほしいなと思っていて、区長一年目で新米で右も左もわからないですけど、そういった区にしていきたいなと思っていて、根上り松の会の交流だとか福祉会の交流だとかサロンにも行ってお年寄りの元気な姿を見たりすると、お年寄りが元気になって要は孫たちがそれを見て住みたいなと思うような町にするにはどうしたらいいかとかいろいろ考えてるんですけど、そういった行政としては過疎で消滅するかもしれないそういった地域に対してどのようにされているのかっていうのが一番知りたいところなので、そこを教えていただければと思うんですけど。

○入江議長 特にこうだという施策は、今展開されてないと思っています。ただ、やはり言われるように浜山団地であたりだとかそういう開発が終わってからもう何十年も経ちますよね。若い人が住むエリアっていうか、家を建てても出ていってでも家を建てるようなエリアというのを確保するというのは大事なことじゃないかなと思っています。実際、

私田後なんですけども、田後のあじその裏側のエリア、東田後というところなんですけども、あそこは泊から移住してこられた人たくさんおられます。そういうことからすると建てるスペースがないから来られたのか直接聞いてませんから本当の要因はわかりませんが、やはりそういう場所があればそういう可能性もひょっとしたらあったんじゃないかなと推測するんですよね。そういうことからすると田後であったりだとか役場周辺のはわい長瀬だったりとか、あの周辺は民間を中心に地の利と言いますか便利がいいところですので、病院、スーパーいろんなものもありますので、それは民間の業者がどんどんきて開発をしてすぐ売れてしまうと、家も建ってしまうということで、昨年湯梨浜は76人アップしているんですよね。社会増といいますか。そういうことからすると、鳥取県の県下の中でも魅力あるエリアだということではあるんですけども、今言われるように旧2町1村で合併して、エリアの格差がそういう面では出てきてるかもわかりません。やはりエリアの格差がそういう面では出てきてるかもわかりません。だから、そういうところに何か手を打って均衡ある発展というようなことを我々も目指していかないけんですから、少しはそういう部分というのを考えていく必要はあろうかなと思ってます。また、町長なり行政のほうにも提案、提言していきたいと思っています。御意見がありましたらまた教えていただければと思っています。

○松岡副議長 貴重な意見ありがとうございました。そのほかありませんでしょうか。

意見がないようですので、次に進ませていただきます。

最後の災害関連についてであります。これは資料をつけておりませんが、皆さんことし非常に経験されたことなんですけど、全国的に見てみますと9月に千葉で最大瞬間風速57メートルというような強い風が吹いて例の鉄塔が倒れたんですけど、10月になったら台風19号で箱根町で千ミリ降ったというようなことがありますし、関東甲信越で500ミリをいろんなところで超えたと。そして低気圧で千葉で200ミリを超すということで大きな災害になっていろいろテレビ等でも取り上げましたけども、要は全国でかなり大雨などによって自然災害が発生しておるということなんですけども、我が町ではことしの3月に湯梨浜の防災マップということで4月か5月の町報で皆さん各家庭に配られていると思いますけども、このときの改正が聞かれた方もいらっしゃると思いますけど水防法とか地域防災計画の見直しに合わせて改訂ということなんですけど、前のやつは50年に一度ぐらいの規模を想定してやったんですけども、今度は千年に一度ぐらいということで最大規模、今まで降った雨の最大規模の降雨を想定した洪水にかかる浸水想定域を制定し

て改訂をしたということです。あちこちで想定外、想定外というのはかなり出てきておるんですけども、想定外が今度は想定外ではなく起こるような状況なっているということなんで、その最大規模降雨を想定した改訂がしてあるということでございますんで、そういう災害関連、防災関連で皆さん方の御意見がございましたらお願いをいたします。

災害対策、災害避難訓練の話も含めて要は防災ということで全てについて検討をお願いいたします。よろしいでしょうかね。

○入江議長 ことは、はまなすで訓練をさせていただきました。そのときにも話をさせていただきましたと思いますけども、やはり全国的に災害が頻繁に起こってくる状況からすると個々で身を守るということは当然のことなんですけども、地区、地区、近所で班ごととか区ごととかそういうところで避難をどうしていくか、自主防災組織の確立ですね、もうちょっと整備っていいですか強化っていいですかそういうことをやはりどこのエリアでもしていく必要があるんじゃないかなと強く思いました。やっぱりテレビなんか観てると今まで大丈夫だったけど大丈夫だわいというような認識の中でやはり皆さんが思っておられると。けども、言葉は想定外ってよく言われるようになってしまいましたけども何が起こるかわからない状況。なんにもなかったのに一時間もしないうちに足をとられるぐらい水がかかるような状況が出てしまうというようなことが起こりつつありますので、その辺のことはそれぞれの地域に帰られましても、今一度その辺の強化なり確立を皆さんとベクトルあわせをしていただいて皆さんに伝えていただけたらと思うところであります。よろしくお願ひいたします。

○住民 今回の大雨が例えば鳥取中部にあったとして天神川が氾濫する可能性があるわけですよ。天神川が氾濫したら過去にも僕調べたんですけど100年以上前があったみたいなんですけど、それって想定外ではなくて堤防をもしかして強化するとかその辺は多分やらないんだろうけど、やる必要があるんじゃないかと思うんですけどその辺はどう考えておられるのか。

○入江議長 この間、国交省の倉吉工事事務所の所長に別の件で会うことがありまして、こんなことがあるんだけど天神川どうなんですかということで対策はどうですかと、今言われることですね、見られてあれかもわかりませんが中を走っている中洲とかなんかに木がだいぶんあったりなんかしますよね。あれの伐採とかなんかをして行って来年度以降は川床をやはり洗堀して行って深みをつくっていきたいというような話をしとられました。そういうことが国交省としては考えておられる。

それと、去年東郷でやられてシュミレーションを国交省がやったときに、湯梨浜のエリアに天神川くるまでに決壊するのはよくないことなんですけど、上流部で決壊してしまうだろうと今のシュミレーションからすると。国交省のシュミレーションって今すっごく正確なようです。ということは、その水が決壊してどういうふうに広がっていくかわかりませんが、ここに来るまでには、まあねえということだと思いますし言われることは強化の問題もありますので我々もまたそういうことは予算付けしていきながら整備をしてもらうように陳情していきたいと思っています。

○住民 もう1点だけ、今シーズンというか去年というか雪があまり降らなかったのちょっと忘れがちなんですけど、除雪機の話なんですけどね。宇谷は除雪機がなくて一般コミュニティなんかでやってるんですけどだめで、前のシーズン結構住民の方がボランティアでやってるんで、今回から除雪活動費が出たんでそれはありがたいことなんですけど、要望の中にアンケートがあって私も書いたんですけど各区に除雪機を配置してくれと、宝くじが当たるのを待っててもなかなかないので配置してくれと書いたわけですね。アンケートの集計表みたらやっぱりそう書いている区が何個もあって、やっぱり皆困ってるんだという状況の中で除雪機をぜひ置いてほしいなと。これから雪が降るのかどうか疑心暗鬼なんですけど、宇谷特に範囲が広いのでかかないといけないのは4、5キロぐらいあるんですよ。それをかくのは非常に大変なので除雪機1台でいいかってそうでもないけど、ないとつらいなと思っていて。一応自主防災のほうの助成費用もあったのでそちらのほうでは除雪機を申請しましたけど。

○入江議長 まだ結論は出てないですか。

○住民 出るのは来年の春くらいです。

○松岡副議長 そのほかございませんでしょうか。そうしますと時間が来ましたので、これで災害関連を終わりたいと思います。

それでは皆さんいろいろ進行に御協力いただきありがとうございました。ではこれで意見交換を終了いたします。

○河田議会運営委員長 たくさんの御意見ありがとうございました。

そうしますと最後になります、何でも結構です。議会、行政に対する御意見、提言等ございましたら一言で結構です、おしゃべりになって帰られませんか。

○住民 議員さん、行政に対する意見として今思ったことがありまして、議会のほうも一、二年程前から質問されたと思うんですけど議会で。いわゆる地域おこし協力隊の関連

で空き家対策とかということでは地域おこしをやってるといふことがあるんですけど、実際泊のほうにやってきてどうのこうのとかがいろいろ見えないんで、議会からも引き続きの行政との見える化をしていただければと思うんです。実際まだ泊には地域の連携をどうのこうの最初のほうは意見だったと思いますけど、実際には動いておられるかどうかが見えないものでお願いしたいことと、それから同じ頃にタニタのヘルスケアの件でいろいろと行政が大きな金額で歳出をされて公募もされてどうのこうのされてますけど、実際どういう形で動いてきてどれだけの効果があつまってどれだけの費用対効果が今あるのかどうかも議会でいろいろ討議してもらえて、また町報でもまた載せていただければと思うんです。

○入江議長 わかる範囲で答弁させてもらいたいと思います。地域おこし協力隊、以前男性の方が着任されてやっておられましたけども、半年くらいでやめられて帰られたということで今は女性の方がやっておられる。見た感じはわりと積極的にやっておられるような気がしとりますけども、それが成果がどんどん出とるかどうかってことは検証も聞いてもおりませんのでよくわかりませんが、ぜひとも効果がでるようにとか一人ではなかなかできないところもあるので、それは区長さん等にも御協力をいただきながら一緒になってやるというようなスタンスがいいんじゃないかなと思ってますのでよろしくお願ひしたいと思います。

タニタのヘルスケアの費用対効果の件については、ちょっとそこまで認識してません。数字をよくとらまえてませんので、それについては所管の委員長からちょっとその辺の報告文書等をあれしてフィードバックできるようにしたいなと思います。

○浜中教育民生常任委員長 タニタについては会員になっておりませんので僕も。効果があるとかないとかは…。会員になって入っておられる方そこにおられるんで、一番よく知っておられると思いますけど、聞くところによると効果は出ているような話を聞いとります。だから、続けることがいいのだろうなという思いはしとります。

○会見議員 いいですか。タニタの仲間になってるんですけども、見ての通りなかなか痩せません。痩せるためではなくて、今200人近くまで仲間はふえてるんですけど、ちょうど丸一年になります。3,000円で機械を借りまして、それで毎日歩いたりしてるんですけども機械にそれをかざしてデータをタニタに送るやり方をしております。仲間の場合は、とにかく頑張ろうと食の部分も含めて健康になるためになんでもいいから頑張ろうということで3B体操の仲間、ゆりりん体操の仲間とかふえよります。確かにふえて

ます。それがありがたいと思っておりますので。ちょうど丸一年でこの間切り替えしましたので二年目に入りますので見てやってくださいませ。

○浜中教育民生常任委員長 データとして一年間出てきとりますので体脂肪率とかそれぞれの平均値が出てくると思いますので、もうすぐしたらデータも出してこられるのかなと思います。ちなみに町長はすっとしたほうです。

○河田議会運営委員長 よろしいでしょうか。そのほか、なんでも結構でございますが。

○住民 ○NUの宅内の電源ユニット交換する作業もこの間から始まってるんですけど、業者さん来られて説明があったときに音声告知機、これ結構いろいろ聞くと聞こえなくて諦めてるところもあるというような状況が散見されてるんですよ。その場でどっかで調べたことありますかといったら平気で50%だと言っていました。50%は不備ですよ。こんな状況でONUと電源ユニットを替えても音声告知機は今回交換しないらしいです。音声告知機がそんな状態でONUと電源ユニットを替えて意味があるんかと言ってお願いしました役場にも。承諾書とって各家をまわるときに音声告知機がちゃんと聞こえるかどうかを調べて教えてくれと言ってます。結構いろんな人に聞くとやっぱり聞こえないとか押したボタンが返ってきてもう諦めてるとかそういう状況の中で、この災害がいつ発生してもおかしくない状況の中で音声告知機が聞こえなくてなんか逃げ遅れた人がたくさんいますよなんて話にならないように実態をもう少し調べてほしいなど。僕もお願いはしてるんですけど、なんで音声告知機を換えないのか、まあお金がないからだと思えますけど…。なんか今やろうとしていることの意味がよくわからないというのが本音です。

○入江議長 何十台かは確か持ってるはず。

○住民 300台在庫はあると言っていました。年間にどれくらい換えてるかって言ったら200台換えてるって言っていました。そういったことを知っている住民は多くないです。企画課に持って行ったら換えてくれるっていうのは。うちの部落では放送しましたけど換えてくれるので換えてくださいねという放送もしてるんですけど、やっぱり足が遠くなっちゃいますね。役場まで持って行ってどうのこうのという話になると。だから本当に今の状態がいいのかどうかをもう少し調べていただいて対応していただけたらと思います。

○入江議長 持ってこれない方はとにかく連絡をとっていただきたいなと思うんです。持っていく手段がないので取りに来てくださいとか、そういうことをまず言われる。諦めてしまわずに、そこで終わってしまっても何もしてくれないっていうんじゃないで事実、現状を伝えて換えてほしいと。ただ行くすべがないのでそれは行政側か業者を頼んで来て交

換してくださいというようなことを促進していただければなど、区長さんお願いしたいなと思います。よろしくお願いします。

○住民 結果を聞いて対処しようと思います。

○浜中教育民生常任委員長 今一人しか対応している職員がおらんですけどね。すぐには順番があるので…。換えてくれます。

○入江議長 ということですので、何事においても諦めたりするではなくて…。

○住民 そういう換えてくれる人は本当に一握りなんですよ。だから諦めて要するに聞こえなくてそのままにしてるところはたくさんあります。

○浜中教育民生常任委員長 いつとき補償があるって文書がまわったことがあるけど、それを見なんだらそれっきり。

○住民 実態を本当に議会のほうも調べてもらって。

○浜中教育民生常任委員長 ちなみに防災無線は聞こえますか。

○住民 防災無線は聞こえます。それをちょっとお願いしたいなと思います。

○河田議会運営委員長 持ち帰らせていただきたいと思います。そのほか、もうよろしいございますか。たくさん御意見、御提言頂戴いたしましたがお時間も迫りましたようですので、そろそろ閉会させていただいてもよろしいでしょうか。

人数少なかったですけど、たくさんの御提言ありがとうございました。

そうしますと、閉会にあたりまして松岡副議長より御挨拶申し上げます。

○松岡副議長 皆さんにはお忙しい中、また、昼間の仕事等でお疲れのなか長時間にわたりまして貴重な御意見、御提言を賜りましてありがとうございました。ただいまいただきました内容については持ち帰りまして慎重に検討させていただきたいと思います。ありがとうございました。

また、季節柄寒くなって参りましたので風邪など召されないように、体調には十分管理をしていただきますようお願いを申し上げまして、閉会の御挨拶とさせていただきます。

きょうはどうもありがとうございました。